

第1回 ～どんな誕生日会にしたい？～ 12月1日



“どんな誕生日会にしたいか”と“出し物を何にするのか”を話し合おう！

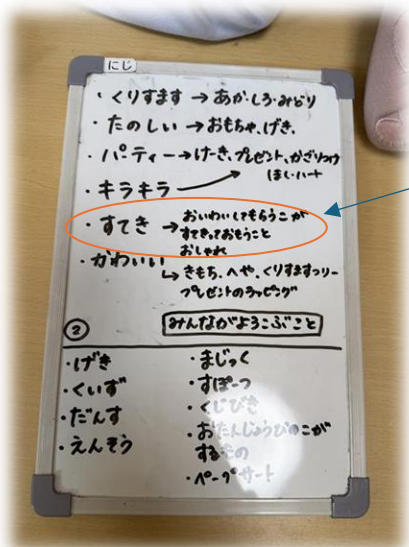


先に“どんな誕生日会にしたいか”を決めたら、出し物を決める事ができるんじゃない？



確かに！いいこと考えたね！じゃあ“どんな誕生日会にしたいか”から話し合おう！考えがある人、おはなしてほしい。

“どんな誕生日会にしたいか”と“出し物”を何にするのか、意見が出てきました。ホワイトボードに、プロジェクトメンバーそれぞれから出た意見をまとめました。



この“すてき”って何が素敵？

おしゃれな たんじょうかい



みんなが喜ぶ誕生日会がしたい！～



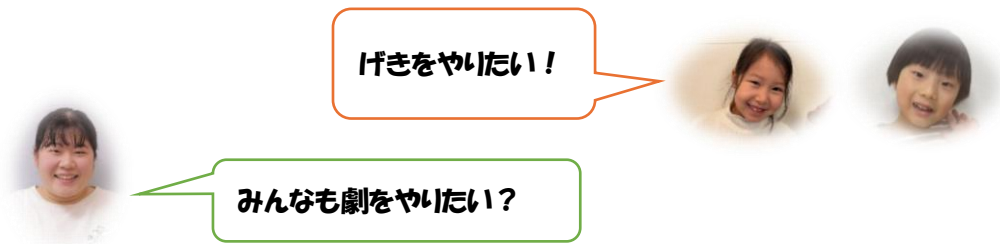
お祝いしてもらおうこと



クリスマスツリーとか、星とかを飾る。

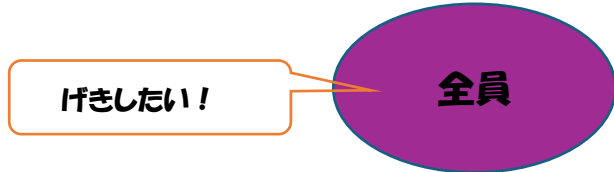


みんなそれぞれの意見が出たね！“素敵”や“キラキラ”の誕生日会どんな出し物をしたい？



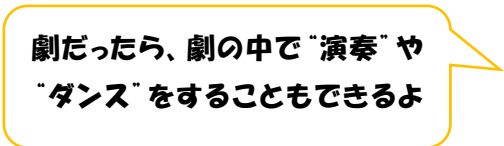
げきをやりたい!

みんなも劇をやりたい?

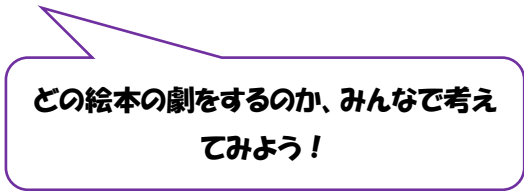


げきしたい!

全員



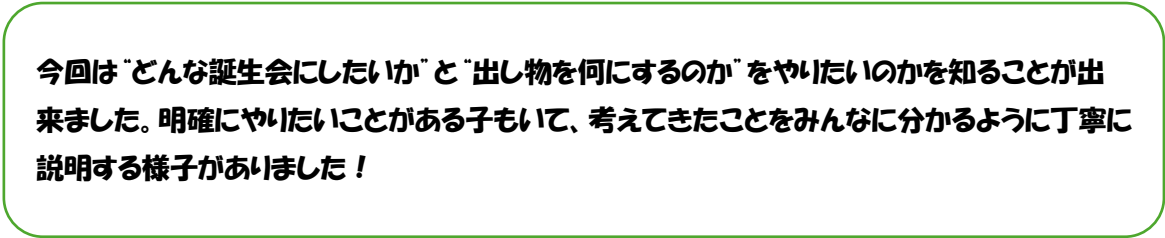
劇だったら、劇の中で“演奏”や
“ダンス”をすることもできるよ



どの絵本の劇をするのか、みんなで考え
てみよう!



←一人一冊、絵本コーナーからクリスマスの絵本を取ってきて、劇の題材にできるかを見てみることにしました。
どの絵本の劇を行うのか決めることは出来なかったので、次回までに“劇の絵本を一人一冊決めてくること”になりました。



今回は“どんな誕生日会にしたいか”と“出し物を何にするのか”をやりたいのかを知ることが出来ました。明確にやりたいことがある子もいて、考えてきたことをみんなに分かるように丁寧に説明する様子がありました!

第2回 ～題材決め～ 12月2日



劇の題材となる絵本を決めよう！



ピート！ぐりとぐら！サンタさんのお話♪



こうやってみると、クリスマスの本ってたくさんあって選べないよね…。劇でするなら「セリフ」「役」「歌」があるやつが練習しやすいと思うよ！



ピートなら、歌もあるし、セリフもあるね！



でも、役がピートと風邪を引いた猫とナレーターしかないよ！！



そうだね…。劇をするなら、もしかしたら役とかセリフがそんなにないかもしれないね。

でも、劇じゃなくて読み聞かせていう方法もいいと思うんだよね。みんな読むの上手だからさ！

劇がいい！でも読み聞かせもいいなあ。



子ども達といろいろなクリスマスの絵本を読んできました。劇をするにあたり、条件の題材を探していきました。なかなか決まらずにいましたが「ピート」だったら、「みんなが知ってる」「歌がある」「役は少ないけど、「ナレーター役・ピート役・風邪を引いた猫役」になれば上手く行くのでは？」という話し合いになり、**ピートに決定！**

ピートの本に決まった後、「役の少なさ」に少しモヤモヤしているメンバーだったので「読み聞かせ」の提案をしました。すると、「劇の方がいい！」「読み聞かせか…(気になる)」と、劇以外の選択にも興味を持ち始めている様子もあり、明日また話そうという事で今回の話し合いは終わりました。

第3回 ～出し物どうする？～ 12月4日



本番まで時間がないんだけど、
みんな劇できそう？



できる!!!



できない…！
セリフとか覚えるの大変だから



確かに…！前回、セリフ覚えるのに苦勞したよね。
衣装作ったり、練習したい…時間がたくさん必要だね。

そういえば、ゆういちろうくんと考えたんだけど、大きな箱から
サンタさんが飛び出してびっくりさせるやつはどうか？



いいかもしれない！クリスマスっていう特別感でるかもね！

いいね！！



「劇はどうしてもやりたい」という気持ちが強かった子どもたち。前回のプロジェクトの事を思い出してみると、「セリフを覚える」「衣装を作る」「練習をする」など、「やりたいけど、やるのがたくさん！」という事が発覚しました。「ちょっと劇を完成させるのは難しいかもしれない…」そんな思いもあったようで、子ども達からは新たな意見が出てきました。そして、「クリスマスという特別感」を意識しながら誕生会を作り上げていく事にしました。第3回話し合いでは、「劇でやりたかった猫のピートは子ども達が読み聞かせを行う」「大きな箱からサンタさんが登場し、誕生日の子にプレゼントを渡す。周りの子は鈴で会場を盛り上げる」という事が決定しました。次回までに、「簡単でたくさん作れるプレゼントを考えてくる」「ピートの絵本を1回は読む」事を宿題にして、この日のプロジェクトを終えました。

第4回 ～プレゼントは何にする？～12月5日



どんなプレゼントがいいか考えてきた？

折り紙で何か作る



わすれちゃった…



びっくり箱



スライム



ポンポン・ヘアバンド
紙粘土・折り紙で靴下を折る



ポンポン



色々な案が出たけれど、どれがいいかなあ…

マスコットが欲しいとリクエストされたんだよね～



「マスコットが欲しい」とリクエストがあったことから、幼児は紙粘土を使ってマスコットを作ることが決定！

おひさまはお手伝いの時に、「音の鳴るおもちゃが好きだった」との話があったので、楽器を作って渡すことにしました。

第5～7回

～フシゼント・デコレーション作り～

12月8日～10日

デコレーション作り

細く切った折り紙に両面テープを貼りつけた輪繋ぎ



輪繋ぎとびっくり箱を作るチームとクリスマスツリーに貼りつける絵を切り取るチームに分かれて活動しました！輪繋ぎ・びっくり箱チームは、めぐるくん・ようかちゃん・ゆういちろうくん。絵を切り取るチームは、しずくちゃん・いなちゃん。ハサミやテープを使う作業に集中して黙々と取り組んでいました。



次は紙粘土でフシゼントを作ろう



粘土で雪だるまを作りたい！



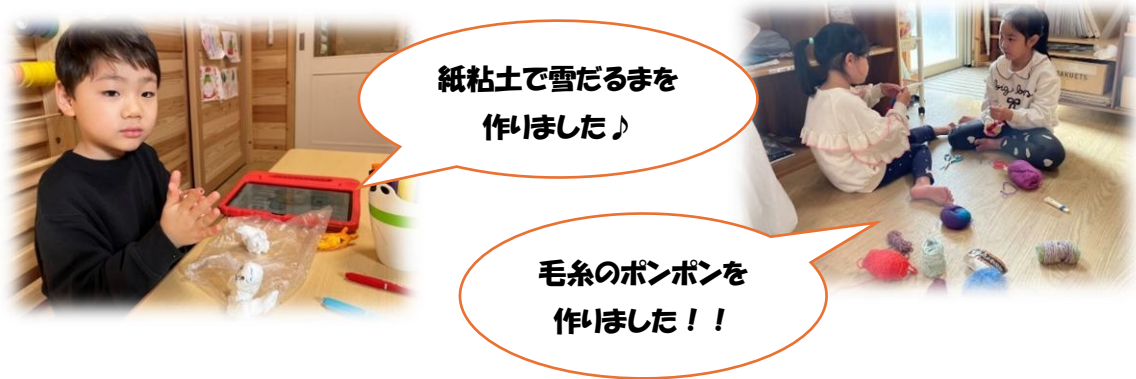
よういちくんが好きなガーデン作る！

フシゼント作りでは、粘土で形作ったものに絵の具で色を塗ったりスパンコールで飾りつけをしたいしていました！



第8回 ～どこのページを読む？～12月11日

話し合いの前に、前回の続きでフゼント作りを行いました♪



フゼントを作り終わると、どこのページを読むのかを話し合いました。



1人1ページずつ交代で読む方法でいいかな？



やだ！役ごとがいい！+リーダーでいっぱい読みたい…



ほとんど+リーダーしかないけれど…どうしようか
じゃあ、セリフとかどれくらいあるか1回しーちゃん全部読んでみて！



わかった！！



どうだった？

ほとんど+リーダーだったから
1ページずつ交代でいい！



しずくちゃんの「いっぱい読みたい」という気持ちと、みんなの「自分も読みたい」という気持ちがぶつかり合った場面でした。実際に全部読んでみる事で、「読みたいけれど、みんなも読みたい」という気持ちをしずくちゃんを感じることができたのではないかと思います。

第9回 ～みんなで読もう～ 12月12日

自分の読む場所が決まってから、自宅や保育園で何度も練習をしたそうで「もうぼっちだよ」「早く、みんなの前で読みたいなあ」と、自信満々の様子の子ども達です。



“ピートがこんな歌を歌うよ”の時、みんな
で歌わない？

♪と～どけよう～ と～どけよう～
みんなのクリスマス♪ とどけよう～



歌う時、バラバラにならないように
せーのって誰かが言うのは？

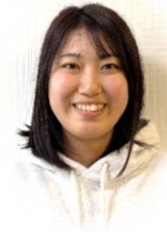


“ピートがこんな歌を歌うよ”のセリフがあ
る人が言えればいいんじゃない？



読み合わせをしながら、子ども同士で「もっとこうしよう」「こうしたらいいかな？」と、話し合いをしていました。子ども達だけで、話を進めていたので保育者は静かに見守っていました。ちひろちゃんのアイディアを聞いたメンバーは、自分の読む場所にそのセリフがあるかどうかを確認し「僕ある！せーのって言わないと」「私はない！でも、せーのって声聞き逃さないようにしないと」と、自分と周りの行動を意識しているのが印象的でした。

第10回 ～実際にやってみよう～ 12月15日



本番まであと2回！実際の流れでやってみよう？

最初は、手あそびだよ～



プレゼントの箱の中から、トナカイ・雪だるま・サンタが飛び出てきて、「みんなをビックリさせたい！」との案がありました。箱を3つ作るはずが、間に合わず…話し合った結果、1つの箱からトナカイ・雪だるま・サンタがそれぞれ登場する事に！サンタ役が誕生児にプレゼントを渡すことが決定しました！

絵本「ねこのピート」を、実際に読むページを順番に合わせて読んでみます。「次は〇〇くんだよ～」などと教えてあげる様子もありました。歌の場所は「鈴を鳴らして歌うのもいいんじゃない？」との案も出てきてオリジナルの読み聞かせになりそうです！



インタビューの場面では「誰にインタビューするのか、を覚えていない子が多く、「〇〇ちゃんは、〇〇くんインタビューするんだよ」と自分達で1人ずつ確認し合う場面がありました。

第11回 ～リハーサル～ 12月16日



幼児誕生会のリハーサルを行いました。当日の流れを確認しながら進めていきます。

10月の誕生会をはじめます♪

びっくり箱から飛び出す順番を確認しながら、箱から飛び出す練習をしました！



メリークリスマス！

次は お誕生日の歌を歌います



ピートの読み聞かせ練習では、絵本を声に出して読むことに加えて、パソコンのボタンを押すタイミングや歌い出しのタイミングも確認しました！



輪飾り作りでは、セロハンテープを貼る係と輪を作って繋げる係を自分達で分担し、作業を進めていました！

第12回 ～幼児誕生会～ 12月17日

「衣装 OK」「飾りつけ OK」「プレゼント OK」とメンバー全員で、確認をしていきました。「あー！緊張してきた」「楽しい誕生会になるかな…」と、様々な気持ちの子ども達です。

おはな

ドキドキ、ワクワクの中での最初のクラス。

自信满满で始めた子ども達です。おはな組は、ピートの物語が大好きなので会場全員で「♪と～どけよう～みんなのクリスマス」

と大熱唱でした。

「プレゼント」と「歌」の順番を間違えてしまいましたが、「忘れちゃったから次やろう！」とメンバー内で話し合い進めることができました。

【振り返り】

- ・順番を間違えないように再確認する事。
- ・パワーポイントのページをめくる時は、長押ししない。
- ・プレゼントから出てくる時はもっと大きな声で、その場で数秒待つ！

と、できたところ、できなかったところを出し合い、次のぞら組に向けて準備をしていきました。

ぞら

振り返りを思い出しながら、子ども達は一つひとつの役割を丁寧に行っていました。

また、周りを見れる余裕が出てきたようで読み聞かせ中にマイクの位置や台本をしまう(保育者に渡す)など裏方の仕事をする場面もありました。

【振り返り】

- ・間違えることはなかったから、引き続き頑張る！
 - ・「せーの」の声に合わせて歌う！（大きな声で）
 - ・終わりの挨拶の後、お客さんを最後まで見送ったら、もっと嬉しい気持ちになると思うから終わりの時は、緑の部屋の前に並んで待てる。
- と、振り返りをしました。お客さんの動きを見てきているからこそこのアイデアなんだなと思い、みんなで、最後の動きの確認をしました。さあ、次を始めよう！とした時です…





みんな～。“どっきりプレゼント”なんだけどさ、一番後ろの席じゃなくて、真ん中とか一番前の方がいいかもしれない。

なんで、そう思うの？



だってね、みんな(お客さん)を見ていると、後ろの席に座っている子少ないんだよ。そしたら、絶対に座る席にシールを貼ったらいいともう！

なるほどね！それは大事かもしれないね！



と、いう事でシールの位置を変えました。

この“どっきりプレゼント”とは、「楽しい誕生会」には、会場のみんなが喜んで欲しい。楽しんでほしい。のコンセプトから会場の椅子に雪だるまのシールを1つ貼りました。その特別な椅子に座った子が最後、プレゼントがもらえるというどっきりを考え、座った子にプレゼントをしました。



つばさ

あっという間につばさ組の会。

おはな・そら組の会とはまた違った緊張感の中、それぞれの役をしながら会を進めていきました“どっきりプレゼント”が始まると「え?!どこどこ?」「なにそれ!!!」と、一気に自分の座っていた椅子を確認する子ども達です。「あった!!!」「いいなあ」と、どっきりプレゼントに一番盛り上がった会になりました。振り返りで出た、最後までお客さんを見届けることも行き、「楽しかった!」「面白かった!」と、その場で感想をもらい、うれしそうにするメンバーでした。

最後に、はっぴ組での会に変更すること、流れの最終確認をして、終わりました。

第13回 ～はっば誕生日会～ 12月18日

誕生日会が始まる前、インタビューをする人、司会をする人が変わる為「緊張してきた！」「かわいいはっば組のお祝い楽しみ♡」と、意気込む子ども達です。「衣装 OK」「飾りつけ OK」「プレゼント OK」と、確認をして、誕生日会がはじまりました。

出し物が始まると「ピート！！」と、
ハハハのはっば組の子ども達です。

プロジェクトメンバーも、会場の反応に思わず

「ガッツポーズ」でした(笑)

インタビューの時には、その子の目線になってマイクを向け、
答えづらい様子を見ると「〇〇ちゃんは3歳になりました」と
代わりに応えたいするなど、学年によって対応を変えていました。



～全体振り返り～

あっという間に終わってしまった誕生日会。子ども達から「終わった～」と、緊張がほぐれたような声が漏れていました(笑)



お客さんが「楽しかったよ」「マスコット当たったのがうれしかった」「ピートが面白かった」って、言ってくれたのが本当にうれしかった。「楽しい誕生日会」にしてよかった！！

ピートを読んだときに、みんなが「♪と～どけよう」って歌ってくれたのがうれしかったし、ピートにしてよかった！



ピート間違えずに読めたのがよかった。
自分の作ったマスコットを受け取った子が「かわいい」って言ってくれたのがうれしかった。

パーティーみたいに飾りつけするのが楽しかった！
プレゼント作りも楽しかった。





楽しいって言ってくれたのが嬉しかったし、楽しかった。
ピートの読み聞かせ緊張したけど、間違えずにできた。

みんなが楽しいって言ってくれたのがよかった。
ドッキリプレゼントで、当たった子が驚いたり、他の子どもも必
死に探してるのがよかった。

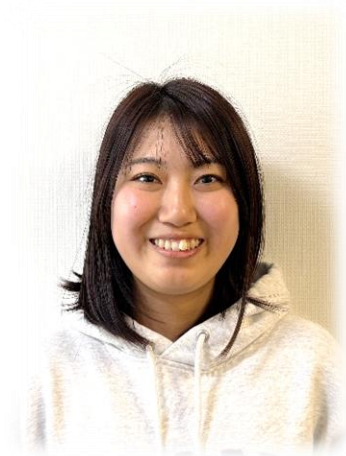


と、それぞれの印象に残ったことや頑張ったことなどを話してくれました。
子ども達にとって一番印象に残ったのは、「お客さんが楽しいって言ってくれた」ことだ
ったようで、一番最初に「楽しい会にしたい」「ワクワクした気持ちの誕生会にしたい」
と言っていた子ども達の思いをみんなで成功させることができました。
今回の誕生会で計画や実行の楽しさや相手を思いやる気持ちを経験できたことで、
これからの子ども達の気づきが更にパワーアップしていくのではないかと思います。

最後に、おひさま組の12月の誕生児へプレゼントを渡し、12月のプロジェクトが終
わりました。



職員振り返り



前回のプロジェクトの経験を生かして、取り組むことが出来たのではないかと思います。子ども達の中に「みんな楽しんでほしい」という思いがしっかりとあった上で話し合いを行うことができ、それが実行できたのではないかと感じます。誕生会に来たお客さんたちも、「楽しかったね～」と言ってくれたことで、プロジェクトメンバーの達成感に繋がり、今後の自信になってくれたらと思っています。 菊地



「楽しい誕生会にしたい」と、初めの話し合いで熱く話っていた子ども達。話し合いが進むにつれて「こうしたらワクワクするかな?」「クリスマスってワクワクするからクリスマスツリーを作ったらいいかも!」と、相手を思い合ったり、想像したりしながら作る誕生会は自分自身も楽しむことができました。日に日に近づく誕生会に、「楽しみだね」と、メンバー自身もワクワクしていったことで、当日の達成感に繋がっていったのだと感じます。 今村



話し合い・プレゼント作り・会の練習から本番・振り返りという流れを、プロジェクトメンバーたちはコツコツと行なっていました。子ども達は、2度目のプロジェクト参加ということもあってか流れをよく理解していて、とても落ち着いて真面目に取り組んでいました。「みんなが楽しめる誕生会」を実現させることができたのは、事前の積み重ねがあったからであると感じます。真面目にコツコツ取り組んだ経験が今後生きてくれたらと思います。 小山内